

トピックス2025

TOPICS
1 各級選挙で熱烈応援！



これからも人と人とのつながりを大切に、地域の発展と政策実現に全力で取り組みます。

TOPICS
4 食とスポーツで‘魅せる島根’

元Jリーガー小泉勇人さんと
アレンジ調理バトル編



松江栄養調理製菓専門学校にて地元食材をアピール。

スポーツ*食*健康トーク編



アスリートの身体づくりとコンディショニング、暮らしを彩る食の魅力を語りました。

TOPICS
2 復興祈念‘さくら植樹’



日本さくらの会評議員として、東日本大震災からの復興創生を願い、猪苗代湖畔で記念植樹。

TOPICS
3 能登半島地震からの復興
諦めない！



伝統芸能や素潜り漁などの文化的価値を取り戻すには、地殻変動や地盤変化の調査も踏まえた長期的かつ広域的な連携が重要です。

TOPICS
5 「トランプ時代の日本の進むべき道」



西村康稔衆議院議員（元経産大臣）を講師に、世界経済の動向と日本の外交防衛について学びました。国際社会で存在感を示すことのできる外交スキルを磨きたいです。

TOPICS
6 女性局いどばたキャラバン



2015年に始めた「女性が主役の対話集会」は全国の‘いどばた’で開催され、小さなつぶやきが政策へ反映されていく大事なしくみに成長しています。継続は力なり。

高階 恵美子 プロフィール

私の基本理念 篇



略歴

1963年(昭和38年)12月21日生まれ

学歴／ 東京医科歯科大学(現・東京科学大学)
東京医科歯科大学大学院(保健学修士)
国立公衆衛生院(現・国立保健医療科学院)

略歴／ 社会保険埼玉中央病院、宮城県職員、
東京医科歯科大学医学部 文部教官
厚生省(現・厚生労働省)科学技術調整官他

議員歴／ 参議院議員2期、衆議院議員1期
(国会議員歴通算15年)

主な国政実績

- 厚生労働副大臣
- 厚生労働大臣政務官(2期)
- 参議院文教科学委員会 委員長
- 衆議院東日本大震災復興特別委員会 委員長
- 自民党女性局長(2期)
- 自民党文部科学部会長
- 自民党政調査会副会長
- 医療・福祉の充実
 - ・地域包括ケアシステムの法定化
 - ・厚生労働省に「女性の健康推進室」設置
 - ・新型コロナウイルス感染症対策副本部長として活躍
 - ・女性の健康総合ナショナルセンター設立
- 子育て・教育政策
 - ・「こどもまんなか」政策を推進
 - ・初等教育の少人数学級を実現
 - ・小学校教員認定試験を47年ぶりに大改正

facebook



LINE



Instagram



X



SNSで情報発信しています。フォローやいいねをお待ちしております！

たかがい恵美子と未来を創る会のご案内

「たかがい恵美子と未来を創る会」は、たかがい恵美子の政治活動を支援することを目的とする後援会です。主旨にご賛同いただけるメンバー会員を募集しています。入会金や会費はありません。詳しくは下記オフィシャルサイトまたはお電話で。

島根県松江市内中原町140-2 島根県政会館3階 TEL:0852-28-2155

発行: たかがい恵美子と未来を創る会 討議資料

URL : www.takagai-emiko.net

2026.1月発行

しまねの未来を創る実践力！
やりがい、いきがい。たかがい！！

自民党島根県第一選挙区支部長

衆議院前議員

高 階
た かがい
恵 美 子
の活動報告

ひとり一人の尊厳が守られ、笑顔あふれる暮らしを実現する
激動する社会情勢を捉えた確かな政策で次代への希望を紡ぐ

NEWS
1 高市政権発足！日本の政治が変わる



衆議院女性議員比率が15%の日本の国会で、初めて女性の総理が選出されました。

笑みと信頼の政治

笑顔輝く人生100年を実現するため、日々研鑽を積み切琢磨しています。



NEWS
2 女性健康政策を国家戦略として充実



女性の生涯の健康PT発足から12年。女性健康政策は健康寿命を延伸する攻めの予防医療の要として戦略的に充実される段階に。

NEWS
3 島根一区から与党代議士を！

衆議院島根第一選挙区支部長に選任され、与党代議士不在の現状を解消すべく奮闘中です。



NEWS
4 女性活躍推進特別委員会



性差に由来する健康課題への対応を加速させ、2026年の女性健康支援法成立をめざして活動開始！

NEWS
5 自民党本部から熱いエール

山口つよし衆議院議員が来県され、「次の選挙に勝つ！」をテーマに講演いただき、ともに活動する地元の皆様を激励いただきました。



信任の絆が
地域へ浸透していく
ことを願い、地道に
努力いたします



思いやりと感謝の心で分かち合い、ともに拓く未来



顔が浮かぶ政策づくり

対話と共感の政治 何事も現場最優先で活動しています

対話「雑談の会」～松江、安来、雲南、奥出雲、飯南～



各地域の皆様と対面でお話しすることを大切にしています。

ケアプロ訪問看護ステーション



制度間の整合性を高め在宅ケアを充実して欲しい!との率直なご意見を頂戴しました。

歯科衛生士会



世界最長寿国日本では歯科口腔ケアの充実が大きな課題。安定雇用を望む声も多いです。

農政会議



誇りある営農をガッチリ支える農政が期待されています。中山間地等条件の厳しい地域には特に「食糧自給力」を高める手厚い配慮も必要です。

企業・団体より多くの要望を頂戴しています!



隠岐の島



物資搬送と生活航路の維持・医療福祉人材確保など離島ならではの課題をしっかりと共有。地域事情に配慮したきめ細かい対応が求められます。

松江赤十字病院



自らのキャリア形成と人生設計を早い段階から職場で考える動きも進んでいます。

トラック協会



貨物自動車運送業の皆様から、燃料費高騰への対応、労働負担の軽減、公共事業費の確保など、熱いご要望をいただきました。

測量設計業協会



社会インフラ整備を支える測量設計技術について、広く理解を深めたいと思っています。

理学療法士学会



地域医療構想を踏まえたリハ事業の展望について、様々なアイデアを頂戴しました。

生涯の健康福祉を守る盤石な社会保障制度の確立

健康格差縮小・包括的健康支援 実績に基づく着実な成果で期待に応えます | ウェルビライフ院内集会

第40回日本女性医学学会学術集会



特別講演「すべてを包む女性医学～女性健康政策の推進～」で、政策の歩みと今後の展望についてお話ししました。

女性健康政策フォーラム



「大雪の松江」に全国から関係者が参加し、地域活性化と女性の健康福祉をテーマに研修。研鑽を深める機会となりました。

女性の健康を包括的に支援する新たな議連が誕生



高市総理の所信表明を受け、ライフコースを視野に女性の健康課題への対応を進める超党派議連が発足。法的基盤整備について議論しています。



モデレーターを務め、女性のウェルビーイング向上へ、自治体・企業・医療・省庁の皆さまと議論。青森市との全国初の連携協定など実践事例も共有しました。

Maternal city構想、島根から



授かった生命を温かく迎え育むための居場所づくりへの挑戦も活発となっています。いのちに寄り添い「産める街」を創成したいです。

将来を見据え、変化に柔軟な地域体制を強化

しまね創成、地域振興 地方の強みを活かし日本を元気にしたい

海士町が厚生労働省を訪問



離島の地域医療を担う医師確保等については、国による支援強化が急務です。

中山間地域の暮らしを守る



移動・買い物等日常生活に関する支援と介護や看取りの体制確保も大きな課題。



帰り際には観光列車「あめつち」に遭遇し、糸原奥出雲町長と発車をお見送りしました。

過疎対策特別委員会とともに



隠岐ジオパークを活かした地域振興や離島での経営課題など、各所と連携して進めます。

地方創生まちづくり機構が発足



地域活力を高める各種事業の立ち上げや街づくりノウハウ提供に協力しています。



安全安心を支える社会インフラ整備の推進



エネルギー安定需給・防災・国土強靱化 持続可能な活力ある街づくりを進めます

島根原子力発電所を視察



安定したエネルギー供給のため、あらゆる事態を想定した安全対策の強化と設備整備が進められています。職員が一丸となって取り組む姿に、胸を熱くしました。

∞(8の字)ルート決起大会



地域産業の活性化と観光振興そして防災減災の観点から、山陰地方をより豊かに発展させる道路整備計画の実現をめざし活動しています。

「知新会」で異業種交流



いわゆる「トランプ関税」と賃上げを可能にする収益増の確保に話題が集中。異業種交流では新たな気づきがあり学ぶことも多いです。

次代を創る人材育成と科学技術振興

生涯に渡る教育とスポーツ振興・研究開発支援 個性や持ち味を伸ばす教育機会の拡充

たかがい塾(日赤看護大学)



15年目を迎えた看護政策特論。明確な未来ビジョンを持つ院生たちとの貴重な交流機会です。

文科大臣等と視察(坪内学園)



国内外で活躍する専門人材育成の最前線で意見交換。仕事と生活の両面を見守る体制づくりについて課題を共有しました。

離島で育つ子供の健康



知夫村の診療所で歯科検診を待つ幼児と対話「ちょっと怖いけど、我慢しようかな」

国際卓越研究大学

東京科学大学、京都大学が第二期認定候補に!

仕事と政治のつながり



社会人となってから気づくことは意外に多く、卒後教育は生涯のキャリア形成においても大きな役割を果たします。ニーズに対応した研修の充実により処遇改善を進めたいです。